

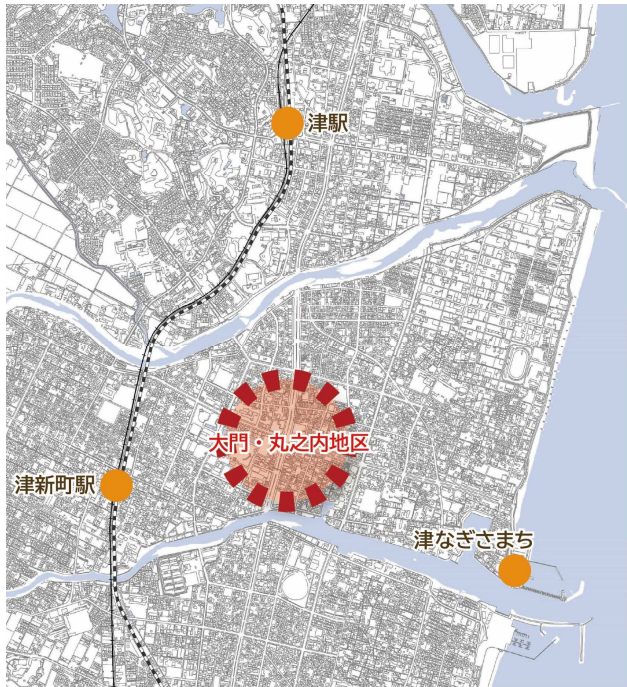
津市 大門・丸之内地区では、

エリアプラットフォーム

「大門・丸之内 未来のまちづくり」

が**未来ビジョン**に基づくまちづくりを進めています。

地区の概要



大門・丸之内地区は、伊勢・伊賀の領主である藤堂高虎が、津城を近代城郭として改修して城下町を形成し、かつては、伊勢神宮へ向かう参宮客でにぎわい、繁華街・歓楽街として発展してきました。

当地区は現在も、交通の利便性が高く、商業・業務施設、公共施設、医療施設などの多様な都市機能と、津城跡や観音寺といった歴史・文化資源をする中心市街地ですが、モータリゼーションの進展や郊外型の大規模集客施設の立地等を背景に、にぎわいや地域活力が低下し、中心市街地の空洞化が深刻化しています。

そのため、エリアプラットフォーム「大門・丸之内 未来のまちづくり」を立ち上げ、目指すべき将来像（未来ビジョン）を共有して官民が一体となってまちづくりを進めています。



国道23号



津城跡(模擬櫓)



観音寺(日本三大観音)

未来ビジョン

地区の将来像



5つの目標

目標 1 人が集い、交流、活動できるまち



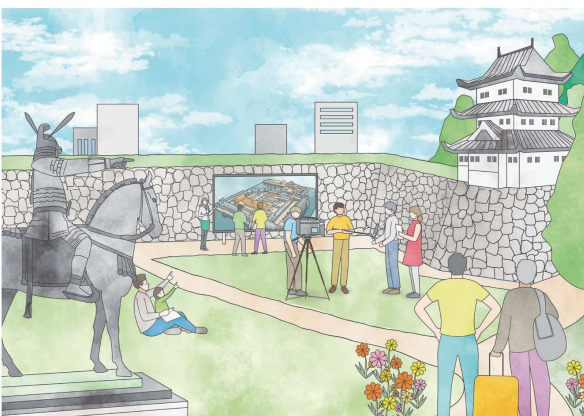
目標 2 楽しく歩いて回遊できるまち



目標 3 エリア価値の高いまち



目標 4 魅力情報が発信されるまち



目標 5 持続可能なまち



道路空間活用実験「ふらっと大門・丸之内」

令和5年度実施!

新しい「まち」の輝きを体験しよう!!

テーブルやイスがくつろいでませんか?

ふらっと大門・丸之内

丸之内エリア (国道23号丸之内商店街道路)
2023.10.25 Wed ▶ 10.31 Tue
10:00~15:00 (一部8:00~10:00)

大門エリア (立町・大門大通り商店街道路)
2023.11.7 Tue ▶ 11.13 Mon
10:00~14:00, 17:00~21:00
*金・土のみ

キッチンカーやお店が「巡回」出るよ!

①恒常的な賑わい創出の可能性の検証

イベント時等の一過性の賑わいは十分あるが、課題は、**平日の恒常的な人の流れの不足**

大門・丸之内地区の**勤務者**など、地区で活動する多くの人のまちなかへの**回遊・滞留**を促す**取組**を実験的に実施

地区で活動する多くの人による**恒常的な人の流れ**や**賑わいの創出の可能性**、**事業ポテンシャルの有無**を検証

②道路空間の新たな活用の可能性や将来のあり方の検証

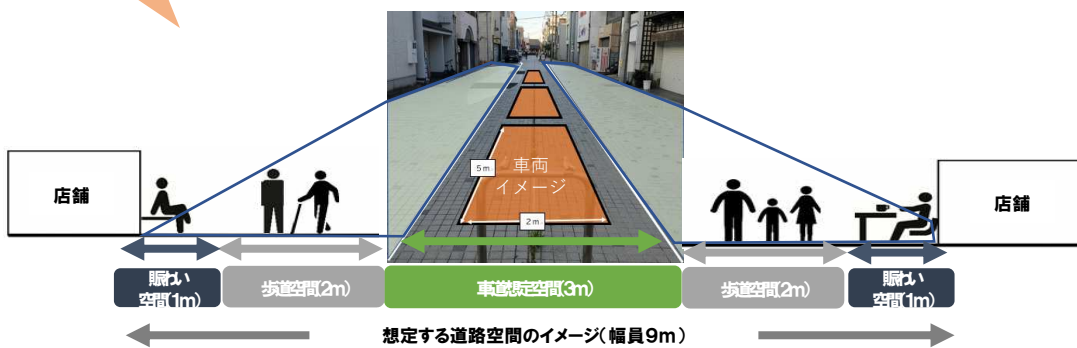
滞留性の向上につながる**新たな活用の可能性**を検証
通りの魅力を損なわない**将来的な道路空間のあり方**を検討



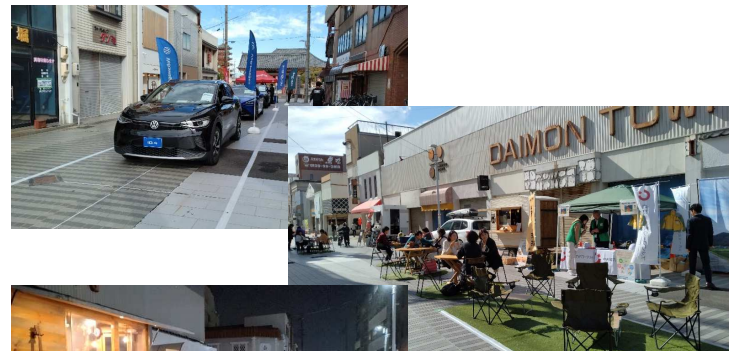
国道23号の丸之内商店街沿道では、1車線を規制し、車道上にキッチンカー、歩道上に出店ブースやテーブル・イス等の滞留空間を設置



歩行者天国となっている大門大通り商店街道路では、道路上にキッチンカーや出店ブース、テーブル・イス等の滞留空間を設置するとともに、実車両を展示して車両通行のイメージも創出



▼車両を展示して車道イメージを創出



▲夜間も実施

検証結果(速報値)

①通行者数の増加

実験エリアへの出入(丸之内・平日) **2.8倍(昼食時 4.6倍)**
大門大通りの通行者数(大門) **4.9倍**

今回の実験のような空間(魅力的な商業空間・滞留空間・高質な雰囲気・広い歩行空間)を創出することで、特に周辺の勤務者等が街に回遊・滞留し、**日常的な賑わい**を創出することが一定可能であると考えられる。

③交通上の問題なし

国道の滞留長(信号待ちの長さ) **影響なし**
賑わい空間としての道路空間活用について、交通への影響はなく、賛成が多かった。

②近隣からの来場者が多い

勤務地がエリア内 **約半数**
徒歩・自転車による来場 **約6割**

④賑わい空間としての道路空間活用に賛成多数

賛成・どちらかと言えば賛成 **9割以上**